鎌倉市議会6月定例会 最終本会議　　2018.6.29

議案第26号 平成30年度鎌倉市一般会計補正予算（第3号）に対する反対討論

本件は、鎌倉市がさる6月15日に「SDGs未来都市」及び「SDGsモデル事業」に選定され、国の地方創生支援事業費補助金が交付されることになったのを受けて追加された補正予算です。

鎌倉市が国に対して行なった提案の内容は、

・市の総合計画の改訂をSDGsの理念を掲げて行うこと

・計画の実効性を高める仕組みづくり

・先行モデルとして、歴史的建造物（具体的には旧村上邸）を活用し、経済・社会・環境のSDGs好循環モデルを創出すること

などからなります。

**＝SDGs（エスディージーズ）とは＝**

そもそも持続可能な開発目標・SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択されたアジェンダに記載された、2016年から2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

2001年に策定された「[ミレニアム開発目標](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/doukou/mdgs.html)」が、開発途上国のための目標であったのに対し、SDGsは、格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動対策など、先進国が自らの国内で取り組まなければならない課題を含む、全ての国に適用される普遍的な目標であるとのことです。

**＝日本政府の取組みと姿勢＝**

政府は、「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」を内閣に設置し、「SDGsの推進を通じて、創業や雇用の創出を実現し、少子高齢化やグローバル化の中で実現できる『豊かで活力ある未来像』を、世界に先駆けて示していく」としています。

そして、『SDGsアクションプラン2018』では、日本の「SDGsモデル」を特色づける大きな3つの柱として、

①高度な先進技術の導入であらゆる課題が解決されると政府が提唱する「ソサエティ 5.0」を、SDGsと連動させて官民をあげて推進すること

②SDGsを原動力とした地方創生

③SDGsの担い手として 次世代・女性のエンパワーメント

をあげています。

ここには、**SDGsの17のゴール・169のターゲットに向けて包括的に取り組もうとする姿勢は見られません。**特に、環境や食料の安全保障は開発途上国の課題であるとでも考えているのでしょうか。大変気になるところです。

環境省では「SDGsの17のゴールのうち、少なくとも12のゴールが環境に関連」という見解を示しているとのことですが、アクションプランの3つの柱では、後ろの方に隠れています。

実際、ごく最近の国の動きを例にあげても、環境や食の安全保障は、かえりみられていません。

今年4月1日、食の安全保障に大きな意味を持つ**主要農産物種子法が廃止**されました。

今月カナダで開かれた主要７カ国首脳会議では、プラスティックごみを減らし海洋汚染を防ごうと提唱された**「海洋プラスティック憲章」に対し、日本政府は署名を見送り**ました。

また、日本の農業に打撃を与え、食の安全を脅かすことが懸念される[**環太平洋経済連携協定**](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%92%B0%E5%A4%AA%E5%B9%B3%E6%B4%8B%E7%B5%8C%E6%B8%88%E9%80%A3%E6%90%BA%E5%8D%94%E5%AE%9A.html)**（ＴＰＰイレブン）の関連法案**が、まさに本日（6月29日）の参院本会議で成立する見通しです。

**＝鎌倉市の提案への疑問～内容および経緯＝**

「日本政府が考えているSDGsの取組みは、国連の提唱するSDGsとは乖離している」ということを述べました。それは、鎌倉市が提案したSDGsの取組みが、政府が掲げるSDGsのミニチュア版、あるいは、自らに都合の良い部分を抜き取って切り張りしたもののように見えるからです。

内容に対する懸念に加えて指摘したいのは、あまりにも突然示された、ということです。市の基本計画への反映という市政の根幹に関わることであるにもかかわらず、国への提案を取りまとめた経緯が不明です。唐突感を覚えざるを得ません。

今回、鎌倉市と同時に「SDGs未来都市」に選定された横浜市は、昨年11月17日に開催した環境管理計画等改定部会において、「横浜市の環境施策と持続可能な開発目標（SDGs）の関連について」を議題にし、同市がSDGsの環境関連の12ゴールとパートナーシップについてのゴール17の、あわせて13ゴールに関する環境施策を既に推進していることを確認しています。環境施策に限るわけではありませんが、鎌倉市において、このような検証作業が提案に先だって行われたのかどうか疑問に思うところです。

結論として申し上げたいのは、市の第4次基本計画にSDGsの理念を盛り込むのは生半可な取組みではない、ということです。

しかるべきコンサルに業務委託すれば、多くのデータの提供とそれなりの作文は出来上がると思いますが、それに甘んじることは許されません。SDGsを掲げることを選択したのであれば、全庁的に主体性をもって進めなければならないと考えますが、本当にできるのでしょうか。

その覚悟があるのかを問いかけ、警鐘を鳴らす意味で、今回の補正予算には反対致します。　以上で討論を終わります。